

令和5年度 第1回沖縄県観光振興基金検討委員会の議事概要

- 1 開催日時 令和5年5月29日(月) 14:30~16:00
- 2 開催場所 沖縄県市町村自治会館 第5・6会議室
- 3 出席委員 別紙のとおり
- 4 議 事 令和4年度沖縄県観光振興基金活用事業の効果検証について
- 5 報 告 令和5年度基金活用事業について
(観光2次交通結節点機能強化事業)
- 6 意見交換

沖縄県観光振興基金活用事業の効果検証、その他基金活用に関して、委員から次のような発言があった

(1) R4年度基金活用事業の効果検証について

① マリンレジャー事故防止対策調査事業

○ダイビングやマリンの事業者が優良事業者かどうか調べることも、観光客の安心・安全に繋がるので観光部局で取り組むとよいのではないかと。

○AIの自動翻訳機能を活用するなど、多言語化についても是非検討していただきたい。

② 観光2次交通等利便性向上体制構築事業

○離島や北部でも2次交通の問題は発生しているため、しっかり調査したうえで観光客が時間を有効的に使えるように、ストレスなく過ごせるように別の事業も一緒に作っていただけたらよいと思う。

③ ホテル人材緊急確保事業

○研修の受講対象者を大学生や日本人に縛るという概念をなくし、外国人の採用にもしっかり取り組んでいく必要がある。

○雇用に関しては様々な課題があるので、商工労働部と連携しながら効果のある事業を行っていただきたい。

④ 沖縄観光貢献度可視化事業

○マスメディアだけでなく、観光を学んでいる大学や専門学校の学生向けの出張講座などは、確実に情報を届けられる手段だと思えるので、デジタルとアナログのハイブリッドな手法も検討していただきたい。

(2) R5年度基金活用事業について(観光2次交通結節点機能強化事業)

○移動手段と拠点の分散化は必須であるが、本事業の周遊バスの確保以外に空港からダイレクトでホテル、レンタカー拠点への輸送も必要と思われる。

(3) その他

○観光振興基金の最終目的は、観光客や観光地周辺に住む住人、観光事業者にとってより良い観光地を形成すること。目的を見失うことなく、引き続き取り組んで欲しい。